

国土交通省 R6地域公共交通共創・MaaS実証プロジェクト採択事業

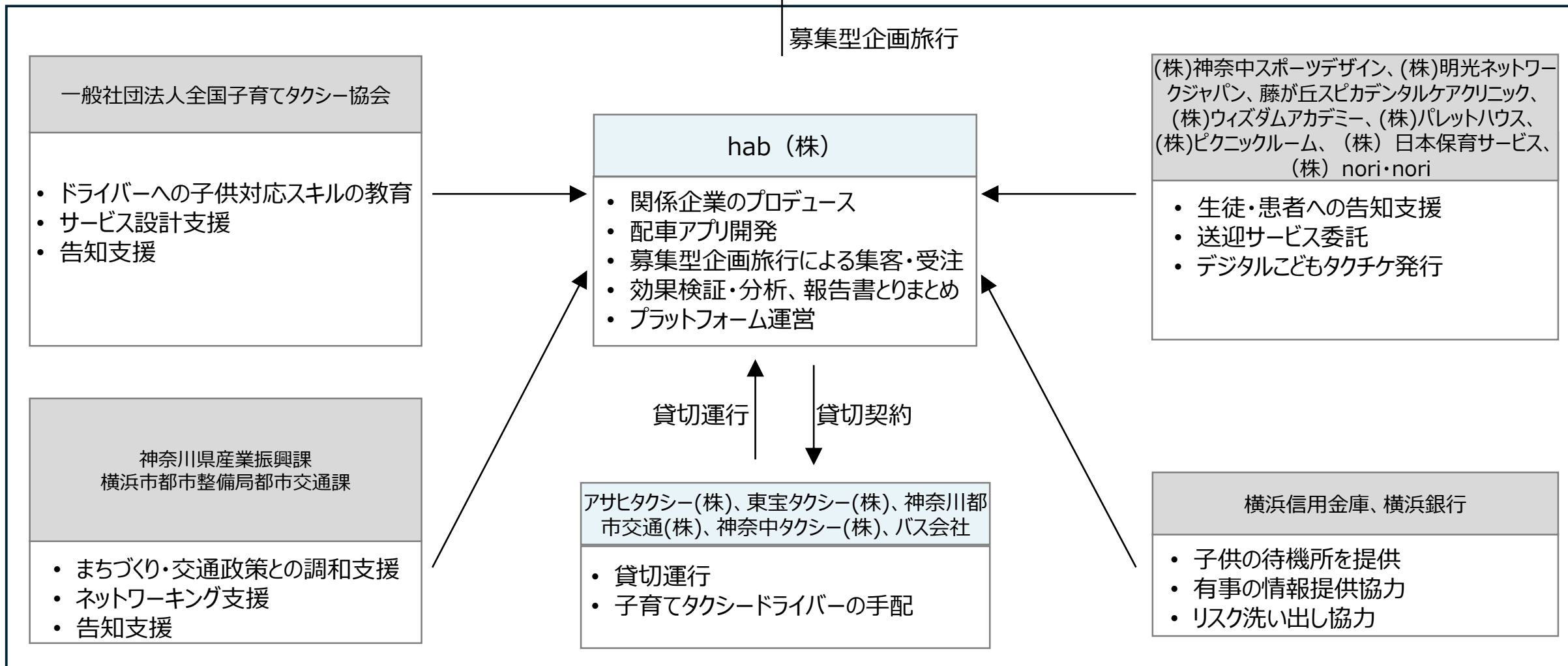
「こどものみらい共創プラットフォーム」 実証実験概要

2024/08/23
hab株式会社

運行時期	令和6年8月9日～令和7年2月28日まで
送迎対応時間	7時～21時 土日祝日も稼働 ※保護者からのリクエストに応じて適宜対応予定
対象者	運行エリアにお住まいで、本事業で提携する習い事・医療施設に通う小学生・幼児
運行エリア	横浜市、川崎市、平塚市、東京都杉並区
使用車両	セレナe-power（タクシー会社）、マイクロバス（バス会社）
運行事業者	アサヒタクシー、東宝タクシー、神奈川都市交通、神奈中タクシー、川崎タクシー、マコト、宮島運輸
運行形態	貸切タクシー・バス運行 ※募集型企画旅行による集客／運行
料金	法人：8,500円/h～ 個人：法人と議論のうえ決定
走行ルート	ルーティングシステムが予約に合わせて自動生成



こどものみらい共創プラットフォーム



カテゴリ	会社名
旅行業・システム開発	h a b 株式会社
タクシー	アサヒタクシー株式会社
タクシー	東宝タクシー株式会社
タクシー	神奈川都市交通株式会社
タクシー	神奈中タクシー株式会社
子育てドライバー育成	一般社団法人全国子育てタクシー協会
習い事	東急スポーツシステム株式会社
習い事	株式会社 神奈中スポーツデザイン
学童・習い事	株式会社 明光ネットワークジャパン
学童・習い事	株式会社 ウィズダムアカデミー
放課後等デイサービス	株式会社 IR
保育園	株式会社 日本保育サービス
保育園・学童	株式会社 ピクニックルーム
予防歯科	藤が丘スピカデンタルケアクリニック
コンサルティング	株式会社 nori・nori
自治体	神奈川県（産業振興課）
自治体	横浜市（都市整備局、経済局、こども青少年局）
銀行	横浜信用金庫
銀行	株式会社 横浜銀行

本コンソーシアムは、現行制度（旅行業）を土台とした再現性の高い課題解決策を実証・提示することで、共働き子育て層が抱える「子供の移動対応による様々な社会問題の解決と他地域水平展開」を目指しています

子育て層の送迎負担軽減による可処分時間向上

タクシードライバーの業務効率化

家庭の経済的負担軽減

タクシー業界の新収益創出

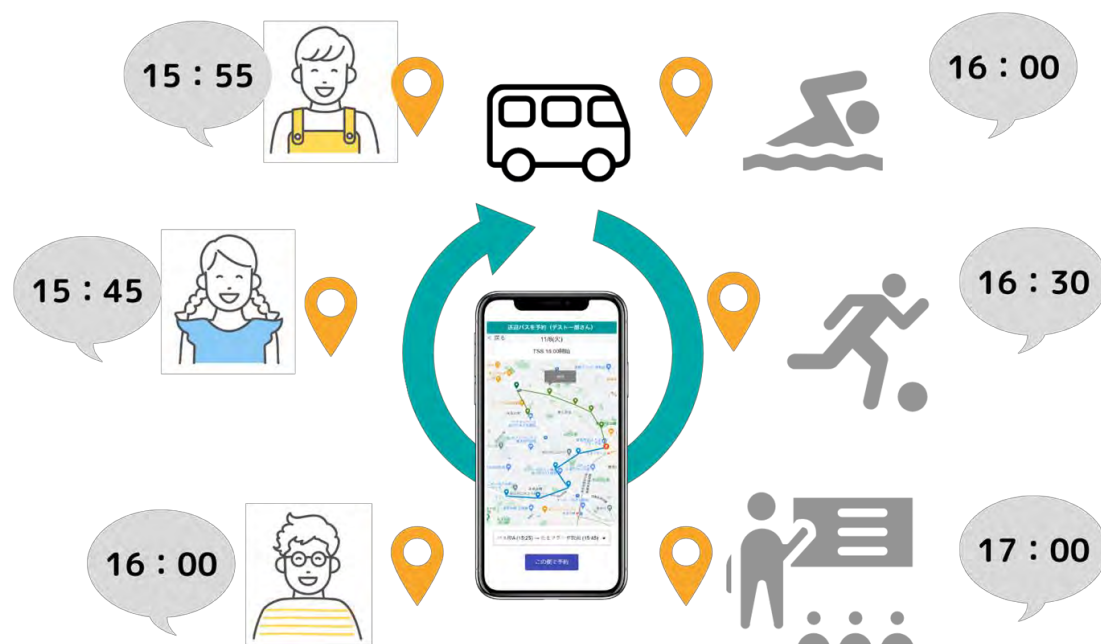
こどもの習い事選択肢の多様化

送迎車両減少によるCO2削減



令和5年度の運営の様子

地域の子供たちが相乗りしてタクシーに乗車し、目的地に向かう
こども専用の相乗りタクシーサービスで課題解決を目指す。



令和5年度実証実験の様子



ニーズ検証	・ リピート率88%、満足度平均9と高いサービス利用満足度 ・ 今回利用しなかった方もエリア外、迎えに行けない、キッズ携帯非保有、対象施設無しなどポジティブな理由が90%。
理想のユーザー像	・ 末子年齢9歳以下の共働き世帯。習い事を2つ程度やっており、土日も習い事で埋まっている。習い事から2 k m圏内に居住。
システムのつかいやすさ	・ 9割の方が問合せ無しで利用まで至る。
ルート設計の精度	・ 予定乗車時刻とのずれの発生率は1割以下となり精度は問題なし。
運行上の課題	・ リクエストから予約に至るまで差分が生まれるため、その調整をどのようにしていくか。 ・ 保護者が迎えに来ることが障壁になっている。 ・ タクシー会社様・シルバー様への業務日時伝達に漏れや時差が生じる。 ・ シルバー様の業務理解が難しい。
安全性	・ 安心度評価4.55 / 5となり、十分な評価を得られた。 ・ ただし、車両を見つけられない、車両が遅延した際の不安度は非常に大きく、課題も残る。
ビジネスモデル	・ 黒字化にはほど遠いが、法人連携など収支改善の道筋も見えた。

成果

- 高い満足度（リピート率88%）
- 法人様からの引き合い多数
- 横浜市外からの引き合い多数
- 潜在顧客の発見
 - ・ 長期運用前提なら利用
 - ・ 停留所同伴無しなら利用
 - ・ キッズクラブからの利用
 - ・ 学童中抜け利用

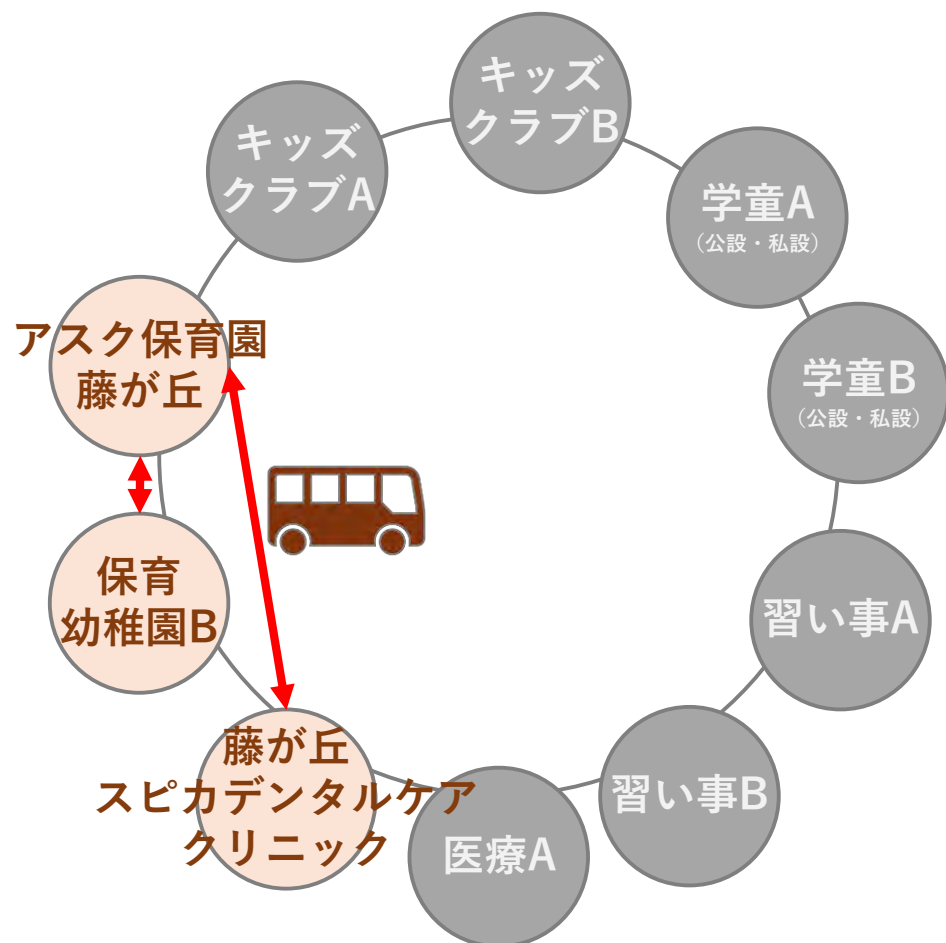
課題

- 採算成立の運行モデルの発見
- さらなる利便性と安全性の向上

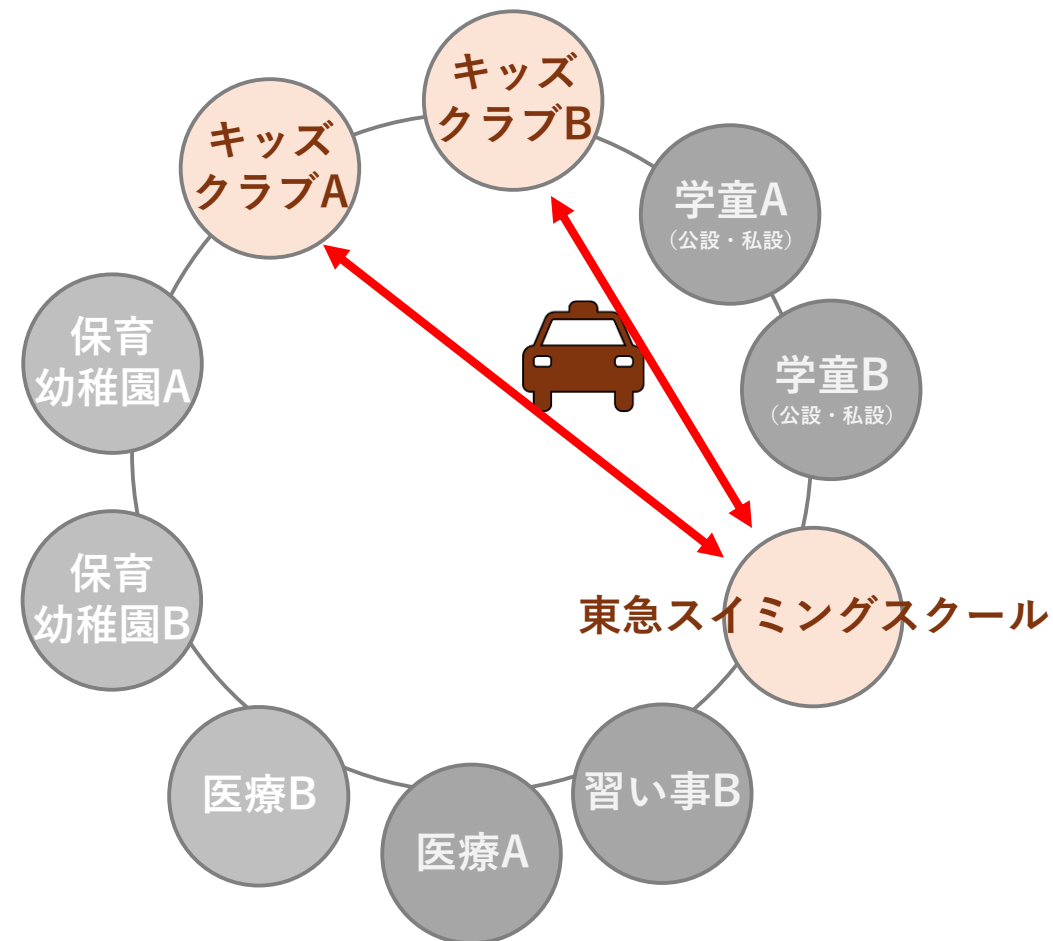
- ・ 児童に加え幼児も対象に加える
- ・ 停留所までの保護者同伴は、保護者申告があった場合不要とする
- ・ 法人からの収益を基礎とする
- ・ 乗車場所を学童・幼稚園・保育園等に意図的に集約する（自宅前も変わらず対応）
- ・ マイクロバスサイズの輸送も対応



イメージ1：保育園×予防歯科医院
マイクロバスで20人程度輸送



イメージ2：放課後キッズ×東急スイミングスクール
タクシーで10人程度輸送（5人乗車×2便走行）



あたらしい放課後プロジェクト



子どもがすでに集まる場所から
送迎網を構築していく

相乗り率が飛躍的に向上し、収益性も向上

目標

- 黒字便の創出
- 平均乗車率を3人/時間
- 法人からの収益化
- 協賛・広告収入の実現

具体策（前年度からの改善点）

- ニーズの高いエリアへのサービス拡大
 - ・ 横浜市、川崎市、杉並区、平塚市
- ニーズの高いターゲットへのサービス拡大
 - ・ 幼児、放課後デイサービス、
- 収支改善への取り組み
 - ・ 早期サービス開始による認知拡大
 - ・ バス貸切モデルの組み合わせによる収支拡大
 - ・ 法人連携モデル
 - ・ 公設学童連携による乗車率向上
- 利便性と安全性を高めるUIへ刷新
 - ・ AIボット等を活用した予約UIの刷新
 - ・ 交通事業者へのより確実な運行指示を実現するUIへ刷新
 - ・ 子どもGPSとのAPI連携/自社開発
- マーケティング加速により「送迎から送客」へ
 - ・ アンケートやアプリ内データ分析によるエリアごとの子供移動の需要の分析と需要創出

令和5年度のシステム開発成果物



ユーザーアプリ

hab

https://habshuttle.com

新規ユーザー登録

あなたの情報を入力

氏名

姓 必須

名 必須

はぶ

花子

姓（ひらがな） 必須

名（ひらがな） 必須

はぶ

はなこ

住所

郵便番号 必須

2200012

ハイフンなしで入力してください

都道府県 必須

神奈川県

市区町村 必須

横浜市西区みなとみらい

町名以下 必須

連絡先

メールアドレス 必須

mail@example.com

登録を完了

ドライバーアプリ

9:30

便001

地図

タイムライン

15:00 着 → 15:05 発

xx 停留所

乗車 1人

〒225-0001 神奈川県横浜市青葉区美しが丘西2丁目27-7

15:00 着 → 15:05 発

xx 停留所

乗車 1人

〒225-0001 神奈川県横浜市青葉区美しが丘西2丁目27-7

運行を開始

hab管理システム

hab

admin.habshuttle.com

ユーザー名

運行便一覧

便ID 時刻

1 14:05 - 1

2 14:05 - 1

3 14:05 - 1

4 14:05 - 1

5 14:05 - 1

6 14:05 - 1

7 14:05 - 1

8 14:05 - 1

9 14:05 - 1

10 14:05 - 1

教室向け管理システム

運行管理士管理システム

hab

habshuttle.com

会社名

ユーザー名

ホーム

承認待ちの生徒 8件

承認待ちの生徒一覧を確認

今日の生徒

名前

hab 太郎

hab 太郎

hab 太郎

hab 太郎

hab 太郎

タスク

2023年10月の運行依頼 8件

未割り当ての運行便 8件

未割り当ての運行便を確認

車間・ドライバーを割り当て

運行中の車両

車両001 ドライバー太郎

便001 14:05 - 14:40 運行中

車両002 ドライバー太郎

便002 14:05 - 14:40 運行中

車両003 ドライバー太郎

便003 14:05 - 14:40 運行中

車両1234 ドライバー太郎

便001 14:05 - 14:40 運行中

車両1235 ドライバー太郎

便002 14:05 - 14:40 運行中

車両1236 ドライバー太郎

便002 14:05 - 14:40 運行中

地図

保護者

- LINEの予約フローの見直し・改修
- リクエスト機能の見直し
- より直感的な乗降時本人確認UI/UXへの改修

運行管理士

- 配車漏れを無くすUI/UXへの改修
- バス会社への発注フローに即したUI/UXへの改修

ドライバー

- より直感的な乗降時本人確認UI/UXへの改修
- 流しドライバーでも対応可能なフレキシブルなUI/UXへの改修

施設

- 福祉事業者や保育園など、他業種にも対応可能なUI/UXへの改修

マスター管理画面

- 福祉事業者や保育園など、他業種にも対応可能なUI/UXへの改修
- 配車漏れを無くすUI/UXへの改修
- バス会社への発注フローに即したUI/UXへの改修
- 予約変更機能など、より高度な顧客対応が可能なUI/UXへの改修

その他

- アーキテクチャの見直し
- DB設計の見直し
- 視認性を高めるデザイン全体の見直し
- 補助スタッフの役割
 - ・ 支援期間の見直し
- バスロケ表示のアルゴリズム改善

スケジュール



8月 — 9月 — 10月 — 11月 — 12月 — 1月 — 2月 — 2/28 —

走行

システム開発

参加施設開拓

車両導入

PR

調査
(個人・法人)

報告書作成

●発注・調達

●納品・運行

●8月26日：共創モデル採択ニュースリリース

●9月下旬：詳細情報リリース